びわこ学園
後援会ニュース
for a bright tomorrow

No. 128 2023年７月１日発行
びわこ学園後援会事務局
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978-2
びわこ学園医療福祉センター野洲内
ＴＥＬ(077)587-1144 FAX(077)587-4211
ホームページ：http://www.biwakogakuen.or.jp
発行責任者 島田 司巳
編集責任者 豊口 みか

第二びわこ学園・知的障害児者地域生活支援センターでの経験と学び

元びわこ学園職員 風呂井 茂

掲載の機会をいただき、ありがとうございます。第二びわこ学園・大津支援センター、法人事務局で約37年働きました。

●就職まで

故郷は小さな村で、何人もの障害者が暮らしていました。一人一人が名前で呼ばれ存在が根付いていました。進学で故郷を離れ数年後に帰省すると誰もいなくなり施設へ入ったとのこと、50年前のことです。学園に来たのは大学のサークルのサマーキャンプです。

●就職後（西棟 ⇒ 東棟 ⇒ 新２棟）

所属は西棟でした。働いて間もなく、若い利用者さんが発作重積で亡くなり、衝撃を受けました。棟再編や職員状況で数か月後に東棟、翌年新２棟に異動しました。

●新２棟

新２棟は言葉でやり取りができる利用者さんが多く、自己決定や意見表明に取り組みました。

養護学校義務制を控え数名が八幡養護学校通学、トイレ介助に付き添いました。その後、施設内学級が開設されました。後年、施設内学級は医療的ケアが必要な利用者さんの通う場になりました。

新２棟では、棟委員（職員の互選による棟代表）を受け、新米職員には戸惑いの連続でした。

棟内で「疥癬」が流行し、対策する日々が数か月続きました。意見の違いを越え、対策に取り組む職員の姿勢がありました。

1987年の「だきしめてびわこ」は地域事務局を担当し、作業が深夜になることもたびたびでした。利用者の介護に関われず、現場の協力なしにはできません。約26万5千人が参加されました。

近隣団地の子ども会交流を実施しましたが継続できず、ボランティアでの難しさを痛感しました。

貴重な思い出。準夜勤務の机の上に書籍「夜と霧（Ｖ・Ｅ・フランクル）」を置いていた。当直医の岡崎先生に声を掛けられ「『〇〇の冠』まで読みました」と間違って答え、「そりゃ『苦悩の冠』やで」と指摘され、恥ずかしくもあり嬉しくもあった。当直の巡回時、テレビを見ている利用者さんのそばで、ひと時一緒に過ごされていました。

●新２棟を離れて（西棟 ⇒ 東棟 ⇒ 西棟）

10年余りのち西棟に異動、重度の方が増えました。東棟へは支援課長として異動、４棟の中では障害が多様でした。支援や入浴回数増に取り組みました。

西棟へ支援課長で異動。医療の必要な方が増加し、職員体制（看護師増員、夜動２人から３人へ夜間看護２人体制）や状態観察のため空間改修を何度も行いました。

それぞれの棟で現場職員から提起・発案し全体で協力して取り組む土壌があり、その後の管理業務にとっても貴重な経験でした。

●指導部（支援部）

指導部長でした。野洲市北桜に引っ越ししました。新施設は設計事務所と協議し進めました。少人数での暮らし・空間の細分化はマンパワー確保が必須、移転後、見守りの観点から仕切り壁を一部撤去しました。

地域の方に園内散歩してもらえるようセンター内に桜並木を作り、地域交流棟食堂の利用も可能にしました。19年たって、近江富士花緑公園と桜並木の一体感が出ています。

近隣小学校での学園運動会は、医療必要者増加で学園祭に移行、小学生にも参加してもらいました。

移転後、地域の幼稚園との交流が始まりました。同年代の子供どうしの交流はお互いに刺激があったようです。

●大津市立やまびこ総合支援センター内　知的障害児者地域生活支援センター

びわこ学園が運営する通所・相談・居宅介護の所長でした。相談支援・居宅介護と生活介護に看護師配置があり、入所の医師の応援を得て医療的ケアの支援も行っていました。

同じ建物に大津市の障害児就学前通園があり、親御さんにとっても大切な場所です。その頃の子どもさんが18歳になり、大津センターの生活介護を利用していることを知り、感慨ひとしおでした。

学園退職後、所長時代に就学前通園で保護者会会長をしていた方と、大津市自立支援協「防災プロジェクト」でご一緒し、変わらず前向きな姿勢に励まされましたが、昨年12月急逝されたとのことで本当に残念です。

ケアホームは、大津センター赴任前年に住宅の確保があり、職員確保や運営検討をして秋に開所することができました。

当時の県内の通所ネットワークや県内・全国の重症者のケアホームの進展と地域生活の課題（重症化・高齢化・医療・看取り・親亡き後など）、びわこ学園職員経験者が始めた地域の重症者支援事業との連携など、びわこ学園の取り組みと共に、たよりや研修会で発信されると参考にされる方が多いと思います。

●学園退職後

大津市にある福祉法人で約６年間お世話になりました。地域のニーズに応じて地域支援を多機能で行っておられます。多くを学ばせていただきました。

●記念誌作成から感じたこと

記念式典や岡崎先生の「お別れの会」の係をしました。びわこ学園40周年誌、50周年誌を担当しました。資料や写真を見ると当時の状況が想像されます。私たちは「幼くして家族と離れる悲哀」「筋緊張のため一言を発するのに全身汗だく、でも訴えなければならない現状」を知った。「幼稚園児との関わりに、同年齢の利用者の普段は見ない表情」「見学者のお礼の言葉に、はにかみながらも満足そうな笑顔」その経験を大切にしてほしい。

多くの人と出会い刺激しあう、出会いは社会の中で自己の存在を確認すること、その機会を作り出すことは支援者の大切な役割です。そのため施設が地域に開かれていることが大切です。

他府県の重症の子どもさんのご両親が学園の見学に来られました。びわこ学園の歴史や取り組みが参考となってほしい。仕事に迷っている福祉従事者の励みになることもあるでしょう。そのような視点からも発信してください。期待しています。

びわこ学園から多くのものをいただきました。ありがとうございました。

令和５年夏

令和５年度　びわこ学園後援会書面総会報告

びわこ学園後援会事務局

新型コロナウイルス感染症が令和５年５月から５類感染症へ移行し、感染防止対策を継続しながらも本格的な「アフターコロナ」時代に入っていく中、久しぶりに対面の総会を開催する準備を進めていました。しかし、開催日とした６月２日は全国的に豪雨となり警報も発出されたことから、急遽書面での総会に切り替え、役員の皆様に各議案に対するご意見をお尋ねしました。その結果、賛成のご意見が規約に定める表決の規定数を満たし、承認いただきましたので、ここでご報告させていただきます。

【書面審議にて承認いただいた議案】

◇第１号議案　改選後のびわこ学園後援会役員について
◇第２号議案　令和４年度事業報告および決算報告について
◇第３号議案　令和５年度事業計画（案）および予算（案）について

【議案概要】

◇第１号議案：びわこ学園後援会の新規役員について

今回役員２名の交代についてご承認いただきました。これまでおつとめいただいた皆様にお礼申し上げますとともに、新たにご就任いただいた皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

◇第２号議案：「令和４年度事業報告」

令和４年度も新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大防止対策により、皆様にお集まりいただくような機会の設定については自粛せざるを得ず、当後援会として目立った活動ができない状況が続きました。また、今年度こそは一歩踏み出して「今できることを継続」しながら「いのち」の尊さや大切さについて、どのように伝えていくことができるかを計画に掲げましたが、具体的な事業を立案することができませんでした。

そのような中ではありましたが、会員の皆様からの会費やご支援いただいた皆様のご寄付を各所での暮らしや環境を充実させる補助やびわこ学園の事業補助、そして後援会ニュースの発行など「今できることをしっかりと継続していくこと」に取り組んできました。

１『びわこ学園後援会ニュース』の発行

今年度も年３回ニュースを発行し、びわこ学園を利用される方々の様子やコロナ禍でのびわこ学園の取り組み、びわこ学園で働く職員の活躍や元職員の近況などをお伝えすることができました。

ニュースに投稿いただいた皆様にお礼申し上げますとともに、紙面を通じて多くの皆様と、それぞれの記事が共有できてよかったと振り返っています。

また、令和４年は岡崎初代園長生誕100年という記念の年であり、びわこ学園で発行された「『熱願冷諦』岡崎英彦年譜及び著作目録」について執筆された遠藤六朗氏に寄稿いただきました。（No.125掲載）

この間目立った活動や後援会事業のアピールができていない状況ですが、ニュースの発行後、会費やご寄付を振り込んでいただくことが続き、皆様から応援していただいているという温かいお気持ちを感じることができる機会ともなりました。

２　各施設で開催されるイベントへの参加・助成

後援会ニュースにも掲載しましたが、新型コロナ禍であっても感染拡大防止対策を実施しながら職員の皆様の創意工夫により、センター野洲夏祭り（No.126掲載）、医療福祉センター草津秋祭り・医療福祉センター野洲学園祭・知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうす（No.127掲載）、が開催されたことに対して助成しました。

（各所のイベント助成に対するお礼から）

【医療福祉センター野洲夏祭り】

今年もセンター野洲の夏祭りに際し、後援会よりイベント補助をいただき、お天気に悩まされましたが、無事開催することができましたこと感謝申し上げます。コロナ禍での開催も数回目となり、実行委員さんの試行錯誤によって、利用者さん一人ひとりが、ご自分に合った楽しみ方で参加できる夏祭りにかたちをかえているように感じます。コロナ禍でも、お祭りを楽しむ気持ちは火文字のごとく熱く燃えています。たくさんの笑顔あふれる夏祭りでした。

【医療福祉センター草津　秋祭り】

今年も感染症対策の下、秋祭りを開催することができました。屋外でご家族やボランティアの方々、職員とともに音楽を楽しまれている姿や、ゆったりとお話しする姿、思い思いに過ごされている利用者さんの表情はやわらかく、あたたかな雰囲気に包まれた時間でした。新型コロナウイルスが流行してから、以前のような形での行事の開催は難しくなっていますが、後援会をはじめ、みなさまのご理解・ご協力のおかげで形を変えながらも秋祭りを開催させていただけています。日頃よりご支援いただきますことに、感謝いたします。

【医療福祉センター野洲　学園祭】

感染症対策のもと10月17日から各病棟にて学園祭を開催し、最終日23日には古墳広場でHAMORI-BEさんのコンサートが行われました。今回のテーマは「新じだい」。幕開けとともに音楽や祭りの恒例である熱気球が飛び出し、利用者さんからもたくさんの笑みがこぼれました。後援会や皆さまのご支援あっての、楽しく、穏やかな時間に感謝しております。

【知的障害児者地域生活支援センター　おまつりはうす】

今年度も新型コロナ感染拡大防止対策により、「おまつりはうす」は中止となりましたが、何とか利用者が楽しめる催し物を検討し、11月11日に「こまつりはうす」と称して実施しました。感染防止のため、３階と４階フロアごとに分けての実施となりましたが、それぞれに楽しい時間を過ごすことができました。３階では、午前中は「ムジクル」の音楽ライブ、午後からは､おもちゃの金魚すくいと風船釣りを行いました。また、４階は会議室をお借りして、「金魚すくい」「だるま落とし」「的あて」「お菓子釣り」などのゲームを行い、皆さん賑やかな雰囲気の中、楽しんでおられました。日々の活動に加えて、行事を通して見られる利用者さんの表情、いつもと違う時間の大切さを改めて感じた一日となりました。ご支援いただいた皆様のご協力のお蔭と感謝しております。

３　施設の「環境充実」への助成

今年度も花壇整備や各施設で利用者の生活や活動が充実するような物品等を購入することに対して助成し、それぞれで活用いただくことができました。

４　びわこ学園主催講座等への事業支援､運営費の助成

オンライン開催された医療福祉センター草津および野洲が実施する「公開講座」および「びわこ学園実践研究発表会」へ助成しました。

５　会員の勧誘

後援会ニュースと合わせて更新してきたSNSについては、あまり発信出来ませんでした。今後はこれまで同様に、びわこ学園のことや各事業所で過ごされている利用者さん、職員のことを知っていただき、後援会が進めているびわこ学園への事業支援活動等にご理解いただけるよう継続して発信していきます。

◇第３号議案：「令和５年度事業計画」

今年度びわこ学園が創立60周年を迎えた中、びわこ学園後援会ではこれまで実施してきた活動を再開しながら、活動の趣旨である「重い障害がある方がたへ医療福祉支援しているびわこ学園の事業支援や事業理解をより多くの方がたへ拡げていく」ことに立ち返り事業を進めていきます。

１『びわこ学園後援会ニュース』の発行

２　各施設で開催されるイベントへの参加・助成

医療福祉センター草津秋祭り、センター野洲夏祭り・学園祭、知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうすの開催に助成していきます。また、開催されたお祭りに利用者さんや訪れる方がたが楽しめるようなお店を出店していきます。

３　施設の「環境充実」への助成

利用者さんの生活や活動が充実するような物品等を購入する場合に助成していきます。

４　びわこ学園主催講座等への事業支援､運営費の助成

オンライン開催を含めて、講座を開催される各所へ助成していきます。今年度は特に「創立60周年」を期して、助成額を増額して支援していきます。

５　後援会の事業理解啓発・会員の勧誘

「いのち」の尊さや大切さについて一緒に考えることができるような企画を検討し、実施していきます。（びわこ学園記録映画の上映会開催、施設でのボランティア活動等）

６　新施設備品購入補助事業

令和４年４月に重症児者相談支援センター「てくてく」および､令和５年４月に滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センター「こあゆ」が開設されたことから、びわこ学園に備品購入に対して各10万円を補助していきます。

令和４年度びわこ学園後援会収支決算

（収　入）　（単位：円）

科　目	予算額（A）	決算額（B）	増減（B）－（A）	備　考
会費収入	1,290,000	1,239,000	△ 51,000	当年度分917,000円(248人、300口)　前受け分322,000円(100人、106口)(前年比)△28,000円(当年度分増、前受分減)
寄付金	200,000	437,000	237,000	41人
諸収入	50	65	15	利子
繰越金	7,033,275	7,033,275	0	
収入合計	8,523,325	8,709,340	186,015	

（支　出）　（単位：円）

科　目	予算額（A）	決算額（B）	増減（B）－（A）	備　考
事務費	235,000	185,602	△ 49,398	
会議費	10,000	0	△ 10,000	
印刷製本費	100,000	80,630	△ 19,370	封筒代
通信費	15,000	15,160	160	郵送代、ハガキ他
人件費	60,000	48,060	△ 11,940	
雑費	50,000	41,752	△ 8,248	振込手数料、残高証明等、宛名ラベル貼付作業
広報事業費	1,070,000	852,809	△ 217,191	
啓発事業費	550,000	461,062	△ 88,938	
印刷製本費	300,000	277,200	△ 22,800	後援会ニュース（３回分）
通信費	200,000	182,362	△ 17,638	ニュース送料（１回分）
啓発資料印刷費	0	0	0	
施設祭出店	40,000	0	△ 40,000	
記録映画DVD購入補助金	10,000	1,500	△ 8,500	３枚分
事業支援費	520,000	391,747	△ 128,253	
実践研究発表会補助	100,000	100,000	0	
地域合同実践報告会補助	30,000	0	△ 30,000	
施設環境充実補助	180,000	141,747	△ 38,253	草津、野洲、びわこ学園障害者支援センター６事業所
公開講座補助	40,000	40,000	0	草津、野洲
講座補助	60,000	0	△ 60,000	
施設イベント補助	110,000	110,000	0	野洲夏祭り　草津秋祭り　野洲学園祭各30,000円　知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうす20,000円
新施設備品購入補助	0	0	0	
後援会特別活動費	350,000	0	△ 350,000	
繰越金	0	7,670,929	7,670,929	
予備費	6,868,325	0	△ 6,868,325	
支出合計	8,523,325	8,709,340	186,015	

当期収支（令和４年度）
収入 ¥1,676,065
支出 ¥1,038,411
収支差額　¥637,654

令和５年度　びわこ学園後援会収支予算

（収　入）　（単位：円）

科　目	前年度予算額(A)	予算額(B)	増減(B)－(A)	備　考
会費収入	1,290,000	1,350,000	△ 60,000	3,000円×450口（前受分含む）
寄付金	200,000	100,000	100,000	
諸収入	50	50	0	利子等
繰越金	7,033,275	7,670,929	△ 637,654	
収入合計	8,523,325	9,120,979	△ 597,654	

（支　出）　（単位：円）

科　目	前年度予算額(A)	予算額(B)	増減(B)－(A)	備　考
事務費	235,000	235,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	総会、茶話会、役員会他、茶菓子代
印刷製本費	100,000	100,000	0	封筒代
通信費	15,000	15,000	0	切手代等
人件費	60,000	60,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	振込手数料、残高証明、のり、セロテープ等、宛名ラベル貼付作業
広報事業費	1,070,000	1,568,000	△ 498,000	
啓発事業費	550,000	758,000	△ 208,000	
印刷製本費	300,000	300,000	0	後援会ニュース（３回分）　@92,400円（税込）＊３回
通信費	200,000	388,000	△ 188,000	送料等　今年度は２回後援会　１回学園負担　ゆうメール@97＊約2,000部
啓発資料印刷費	0	0	0	学園PR資料
施設祭出店	40,000	60,000	△ 20,000	野洲夏祭り。草津秋祭り各30,000円予算で出店開催予定
記録映画DVD購入補助金	10,000	10,000	0	夜明け前500＊10枚　わたしの季節500＊10枚
事業支援費	520,000	610,000	△ 90,000	
実践研究発表会補助	100,000	120,000	△ 20,000	創立60周年記念の実践研究発表会のため増額
地域合同実践報告会補助	30,000	30,000	0	
施設環境充実補助	180,000	180,000	0	草津　野洲　各50,000円、知的障害児者地域生活支援センター【さくらはうす・ひまわりはうす　各8,000円】びわこ学園障害者支援センター【えがお、さんさん、たいよう、かなえ、ピアーズ　ともる　えまい　ちょこらんど　各8,000円】
公開講座補助	40,000	130,000	△ 90,000	草津、野洲、各50,000円　地域合同（大津・びわセン）へ30,000円
講座補助	60,000	40,000	20,000	公開講座以外の独自開催（２講座分）へ各20,000円
施設イベント補助	110,000	110,000	0	野洲夏祭り　草津秋祭り　野洲学園祭各30,000円 知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうす20,000円（開催予定）
新施設備品購入補助	0	200,000	△ 200,000	びわこ学園＜びわセンてくてく・法人事務局＞へ各10万円
後援会特別活動費	350,000	50,000	300,000	・後援会活動保険16名分(全国社会福祉協議会ボランティア保険　1名550円)・障害者理解・啓発活動
予備費	0	7,267,979		
繰越金	6,868,325	0		
支出合計	8,523,325	9,120,979		

当期収支（令和５年度）
収入　1,450,050
支出　1,853,000
収支差額　－402,950

収支差額分は予備費から充当します。

びわこ学園の 輝人☆ミ きらびと

びわこ学園障害者支援センター

生活支援員 濵崎（はまざき） 夏美（なつみ） さん

2014年４月に知的障害児者地域生活支援センターに着任。現在は臨時職員として「たいよう」に勤務されるかたわら、揚げパンの販売をされている濵崎さんにインタビューしました。センター野洲でも販売して頂きましたが、とってもおいしかったです。

Q1 びわこ学園との出合いは？

びわこ学園は、大学の福祉学科での授業にもでてきたので知っていました。保育を専攻していましたが、昔から興味があった障害福祉関係に進みたい！歴史の古いびわこ学園がいいかな、と思い採用試験を受けました。面接官の方に、「あなたは福祉に向いている、いい職員になるよ。」と言われ、「こっちの道は自分の天職や！」と受かってもいないのに思いました。

Q2 なぜ揚げパンを販売しようと思ったのですか？

育休中、社会から取り残されたような孤独感を感じていました。そんな時、ふらっと散歩に出かけると、たこ焼きのキッチンカーが。近寄ると、「お疲れさまー！」と声を掛けられました。初対面のおじさんでしたが、心がスーッと軽くなりました。全く知らない人と、たった一言の挨拶を交わすだけで、心が軽くなることってあるのです。そんな場所が増えたらいいなぁ、ないなら作ろうか、そして待っていてくれる人のところへ届けることができるお店がいい。キッチンカーでの移動販売をしよう！と決めました。

揚げパンにした理由は、自分の子がアレルギーを持っていたため、お祭りなどのイベント時や保育園のおやつの時、みんなと同じものが食べられませんでした。そこで、卵乳製品不使用で、おやつにもご飯にもなって、お母さんの手助けができるもの。子供から大人まで馴染みがあり、何より自分も好きなので、揚げパンから始めようと思いました。

Q3 揚げパンの魅力を教えて下さい。

揚げたて最高！です。パンによっても揚げ方によっても全然変わります。卵乳製品不使用パンで素材にもこだわっているので、揚げているけどカロリー低めです。フレーバーも無限大！老若男女問わず、みなさんニコニコで食べて下さっています。

Q4 今後の夢は？

駄菓子屋も子ども食堂もやりたいし、お金がなくても買えるチケットなんかも考えたいです。キッチンカーもまだ始まっていませんが…。とにかくやりたいことで溢れています。（笑）でも共通して言えるのは、誰も取り残されず、楽しいことがしたい！みんなが笑顔になれる場を、空間を作っていくのが夢です。

びわこ学園後援会では会員を募集しています！

びわこ学園後援会は「この子らを世の光に」という理念のもと、重い障害を持たれている方がたへ支援しているびわこ学園の事業支援や事業理解をより多くの方に拡げていくことを目的に活動しています。

この活動趣旨をご理解いただき、ご賛同いただける方を募集しています。

ご入会していただくと

- ●びわこ学園後援会ニュース、びわこ学園だよりを送付します。（年３回）
- ●びわこ学園記録映画「夜明け前の子どもたち」「わたしの季節」のDVDを販売価格から一割引き（￥5,000⇒￥4,500）で購入できます。

会費

個人：3,000円　　法人・団体：30,000円（年一口）

ご入会の手続きについて

下の振込取扱票を切り取っていただき、必要事項をご記入の上、郵便局で手続きをお願いします。（手数料は無料です。）

また、振込取扱票が無い場合は、直接事務局宛にご請求下さるか郵便局に備え付けの振替用紙に以下をご記入の上、手続きをお願いします。

（口座番号　01080　2　9958　社会福祉法人　びわこ学園後援会）

---

02 大　阪

払　込　取　扱　票

通常払込料金加入者負担

口座番号	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0 1 0 8 0 ― 2 ― 9 9 5 8		※							

加入者名：社会福祉法人びわこ学園 **後援会**

料金：　　備考：

通信欄

※
1．びわこ学園後援会会費　　年度　　口　　円
2．びわこ学園後援会寄付金　　円

紹介者

ご依頼人

※（〒　　－　　）
おところ
おなまえ
（電話　　－　　－　　）

日附印

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号京第2567号）

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0 1 0 8 0 ― 2	通常払込料金加入者負担
	9 9 5 8	

加入者名：社会福祉法人びわこ学園 **後援会**

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	※							

ご依頼人：おなまえ ※

料金：　　日附印

備考：

記載事項を訂正した場合は、その個所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

みなさま、いつもありがとうございます

後援会会費納入者ご芳名

★ 2022年11月１日～2023年３月31日受付分（敬称略、順不同）

［2022年度分会費］

阪本　博史　藤重　和子　馬庭　京子　冨田冨士江
玉田　厚　橋本　佳美　渡會やよい　飯塚　勝邦
飯塚　昭子　村田　光子　百々　洋子　藤田　智
桜井友次郎　豊島　史子　二宮　聡子　白井　幸則
﨑山美智子　橋田　静子　吉田　郁代　田附　早苗
村田　圭三　小中　政治　杉原智加子　今村とも子
若杉　安雄　小菅　康子

［2023年度分会費］

千草　篤麿　水谷　睦美　玉田　厚　石田　昌幸
石田　敬子　大藤　夏実　石田　正志　松尾　常美
谷口嘉代子　公門城正臣　池内みさ子　村田　光子
服部　章　角熊　欣也　川瀬　源信　川瀬とし江
西河　正勝　岩本　康希　大槻　敏明　村田　甫子
鈴木　順子　小西　靖子　前田　容子　山本　朝美
武内　一　諏訪　宗彦　小林　冴子　櫛田　和義
櫛田美香子　河合　隆平　木田　昌秀　大東　知子
増田　洋亮　高橋　隆幸　船橋　篤彦　竹本キク子
竹原　智也　西川　勇　桜井友次郎　豊島　史子
田中　洋子　珠玖紀代子　大虫　里美　郷原　礼子
福川百合子　金野　光章　須藤　正之　中西　晃一
池内　政一　山﨑正策・有子

［2024年度分会費］

玉田　厚　堂本　睦子　柴田　操　山本　朝美
西川　勇　桜井友次郎　村木　弘富

［2026年度分会費］　谷川　睦弓

後援会寄付金納入者ご芳名

★ 2022年11月１日～2023年３月31日受付分（敬称略、順不同）

若杉　安雄　村山き代乃　百々　洋子　千代　謙治
田中　光弘　岩本　康希　若林　登子　西山　順三
西村　隆宏　大東　知子　増田　洋亮　粟津　順子
塚本　章子　大瀧　定子　大虫　里美　福川百合子
須藤　正之　橋田　静子　大阪保育福祉専門学校

後援会会費・寄付金納入者累計

		区　分	当期受付分	累　計
会費	2022年度分	会員数	26 人	248 人
		口　数	39 口	300 口
		金　額	120,000 円	917,000 円
	2023年度分	会員数	50 人	83 人
		口　数	53 口	88 口
		金　額	159,000 円	265,000 円
	2024年度分	会員数	7 人	11 人
		口　数	7 口	11 口
		金　額	21,000 円	33,000 円
	2025年度分～2026年度分	会員数	1 人	4 人
		口　数	1 口	4 口
		金　額	5,000 円	14,000 円

	区　分	当期受付分	累　計
後援会寄付金	会員数	19 人	41 人
	金　額	219,000 円	437,000 円

編集後記

先日ラジオで、「ペロブスカイト太陽電池」という言葉を耳にしました。ペロブスカイト太陽電池は、塗って使うことができるとのこと。フィルム状にすることで、軽量で柔らかく、曲面にも使えるそうです。つまり、従来の太陽電池を使えなかった場所、例えば、自動車の車体や、建物の壁面や窓にも使える、「軽くてペラペラの柔らかい太陽電池」なのです。1954年にアメリカでシリコン太陽電池が開発された時、その数十年後にペロブスカイト太陽電池のようなペラペラの太陽電池が登場するとは夢にも思わなかったと思います。

５／８からコロナウイルス感染症が５類に移行し、世間では少しづつマスクなしの方が増え、旅行や大人数での飲食も罪悪感なくできるようになってきましたが、医療機関や介護の現場では、引続きマスクの着用が推奨されています。気持ちを緩めるところと引き締めるところをいい塩梅で使い分けたいのですが、なかなか難しく手探りの日々です。いつかペロブスカイトのように、顔に塗ればウイルスをガードすることができるような大発見がありますようにと期待しています。（T）

（ご注意）

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
5万円以上
貼　付

印

この場所には、何も記載しないでください。